

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 エスピー食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2805 URL <https://www.sbfoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 博行
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理サポートグループ担当 兼 財務管理室長 (氏名) 山崎 崇弘 TEL 03-3668-0551
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	36,842	2.0	2,320	0.8	2,313	1.8	1,631	0.5
2019年3月期第1四半期	36,105	1.7	2,302	4.5	2,355	3.5	1,640	2.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,309百万円 (19.8%) 2019年3月期第1四半期 1,633百万円 (15.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	128.47	
2019年3月期第1四半期	129.17	

2018年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合とする株式分割を実施いたしました。「1株当たり四半期純利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	117,997	44,677	37.9
2019年3月期	109,532	43,622	39.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 44,677百万円 2019年3月期 43,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		40.00		20.00	
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		22.00		22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合とする株式分割を実施いたしました。2019年3月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。また、2019年3月期の年間配当金の合計については単純合計ができないため、「-」としております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	1.8	4,150	4.8	4,100	3.6	2,800	2.4	220.46
通期	148,000	2.0	7,200	0.6	7,100	0.4	4,900	13.5	385.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	13,954,234 株	2019年3月期	13,954,234 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,253,816 株	2019年3月期	1,253,750 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	12,700,462 株	2019年3月期1Q	12,700,810 株

2018年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合とする株式分割を実施いたしました。発行済株式数(普通株式)は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦などによる海外経済の不確実性の高まりなど、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、将来への不安を背景としたお客様の節約志向に加え、ライフスタイルの変化に伴う行動の多様化や市場構造の変化への対応が求められるとともに、人手不足を背景とした人件費や物流費の上昇など、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、中期経営計画に基づき、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追求はもちろんのこと、高い品質と新たな価値を創出し、お客様の健やかな暮らしに役立つ製品を生み出すため、お客様視点での製品施策や、これを実現するための生産体制の整備を進めるとともに、全社一体となったマーケティング活動に取り組むことで売上高と利益の拡大を目指してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、食料品事業において香辛調味料グループが伸びたこととともに、主力製品を中心に堅調に推移いたしましたことなどから、前年同期比7億37百万円増の368億42百万円（前年同期比2.0%増）となりました。利益面では、販売促進費や積極的なプロモーション活動による広告宣伝費の増加があったものの、売上高の増加に加え、引き続き原価低減に努めたことなどから、営業利益は前年同期比17百万円増の23億20百万円（同0.8%増）となりました。なお、営業外収支が前年同期を下回りましたことから、経常利益は前年同期比41百万円減の23億13百万円（同1.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比8百万円減の16億31百万円（同0.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、8ページ「3. 補足情報」をご参照ください。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比8億94百万円増の319億40百万円（同2.9%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比32百万円減の22億95百万円（同1.4%減）となりました。

(2) 調理済食品

売上高は、前年同期比1億57百万円減の49億1百万円（同3.1%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は14百万円（前年同期はセグメント損失35百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して84億65百万円増加し、1,179億97百万円となりました。これは主に、売上債権の増加35億84百万円、有形固定資産の「その他」に含まれております建設仮勘定の増加22億14百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して74億10百万円増加し、733億20百万円となりました。これは主に、借入金の増加70億25百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して10億55百万円増加し、446億77百万円となりました。この結果、自己資本比率は37.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移いたしましたことから、2019年5月14日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,007	20,436
受取手形及び売掛金	28,431	32,016
商品及び製品	6,847	7,227
仕掛品	1,883	1,896
原材料及び貯蔵品	5,800	6,074
その他	944	542
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	62,915	68,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,740	11,692
機械装置及び運搬具(純額)	6,555	6,491
土地	8,831	10,285
その他(純額)	6,477	8,655
有形固定資産合計	33,604	37,124
無形固定資産	847	817
投資その他の資産		
投資有価証券	6,785	6,345
退職給付に係る資産	—	33
その他	5,799	5,903
貸倒引当金	△420	△420
投資その他の資産合計	12,165	11,862
固定資産合計	46,616	49,804
資産合計	109,532	117,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,266	10,495
短期借入金	21,119	27,960
未払金	10,854	9,436
未払法人税等	48	568
賞与引当金	1,253	735
資産除去債務	1	1
その他	3,790	5,451
流動負債合計	47,334	54,650
固定負債		
長期借入金	9,391	9,575
債務保証損失引当金	805	805
退職給付に係る負債	6,330	6,263
資産除去債務	186	186
その他	1,862	1,839
固定負債合計	18,575	18,669
負債合計	65,910	73,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	36,677	38,054
自己株式	△2,931	△2,931
株主資本合計	40,827	42,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,189	1,875
土地再評価差額金	862	862
為替換算調整勘定	14	△4
退職給付に係る調整累計額	△272	△260
その他の包括利益累計額合計	2,794	2,472
純資産合計	43,622	44,677
負債純資産合計	109,532	117,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	36,105	36,842
売上原価	20,695	20,883
売上総利益	15,409	15,958
販売費及び一般管理費		
販売促進費	7,729	8,100
その他	5,377	5,537
販売費及び一般管理費合計	13,106	13,638
営業利益	2,302	2,320
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	87	93
不動産賃貸料	9	10
為替差益	21	—
その他	67	61
営業外収益合計	185	167
営業外費用		
支払利息	127	121
為替差損	—	21
その他	5	30
営業外費用合計	132	173
経常利益	2,355	2,313
特別利益		
固定資産売却益	3	—
特別利益合計	3	—
特別損失		
固定資産除却損	17	6
その他	1	—
特別損失合計	18	6
税金等調整前四半期純利益	2,339	2,306
法人税、住民税及び事業税	706	654
法人税等調整額	△6	20
法人税等合計	699	674
四半期純利益	1,640	1,631
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,640	1,631

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,640	1,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	△314
為替換算調整勘定	23	△19
退職給付に係る調整額	15	12
その他の包括利益合計	△7	△321
四半期包括利益	1,633	1,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,633	1,309
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,046	5,059	36,105	—	36,105
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,046	5,059	36,105	—	36,105
セグメント利益又は 損失(△)	2,328	△35	2,292	10	2,302

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額10百万円は、セグメント間取引消去10百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,940	4,901	36,842	—	36,842
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,940	4,901	36,842	—	36,842
セグメント利益又は 損失(△)	2,295	14	2,310	10	2,320

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額10百万円は、セグメント間取引消去10百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第1四半期 (累計)	当第1四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	31,046	31,940	894	
スパイス&ハーブ	6,544	6,597	53	洋風スパイス (増加)
即席	8,219	8,164	△55	即席カレー (減少)
香辛調味料	9,193	10,026	833	チューブ製品 (増加)
インスタント食品その他	7,088	7,151	63	レトルトカレー (増加)
調理済食品	5,059	4,901	△157	パン等 (減少)
計	36,105	36,842	737	